

<写真・図表等掲載欄>



(写真1) アドバイザーによる授業



(写真2) 新聞記事等を活用した学習



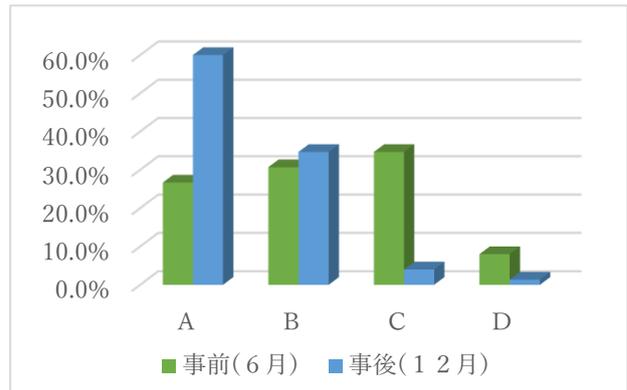
(写真3) 実物を活用した学習



(写真4) 産業用無人機(ドローン)から知財を探る

Q 知財を意識しているか。

- A : よく意識している
- B : 意識している
- C : 努力している
- D : 意識しない



(グラフ1) アンケート結果抜粋 (指導前後の比較)

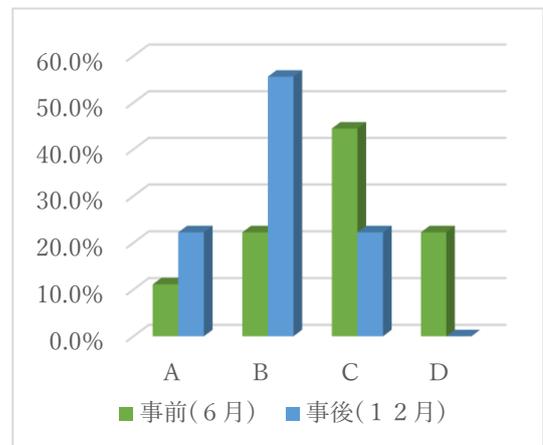
秋田県新規ブランド米「サキホコレ」を活用した地元小学生との交流学習について



(写真5) ブランドの保護・活用について協議

Q サキホコレのブランド化の学習は
今後役に立つか。

- A : 大変役立つ
- B : 役立つ
- C : 多少は役立つ
- D : 必要ない



(グラフ2) アンケート結果

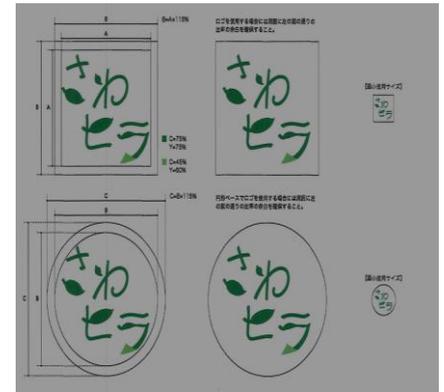
<写真・図表等掲載欄>



(写真1) ダリアの観察



(写真2) ニオイ木の商品化



(図1) ニオイ木商標



(図2) ダリア切り花商標



(写真1) 校内セミナー（商標について）

「ダリアの高品質栽培と商品化」と「ニオイ木の増殖と機能性素材の商品化」の取組について

地域資源植物である「ダリア」と「ニオイ木」の栽培から商品開発と商品化を図るために必要なラベル等の商標デザイン作成の取組から知的財産権について学んできた。ラベルデザインの作成だけではなく、本校が位置する山形県川西町の花であるダリアと空気浄化力が認められたニオイ木(クサギ)の栽培と活用を図る商標づくりをとおして、地域の農家や造園業を営む方々と交流が生まれ、そこから学ぶことが多くあった。ひとつのアイデアを形にする創作活動と作り出されたものの完成度を高め商品化を図る過程において、商標等の知的財産権の大切さを学ぶことができた。

今後の課題	知財の要素が創造に偏っているので保護や活用にも焦点を当てる必要がある。
課題への対応	知財を扱う科目を設定する必要がある。 教員の指導力向上

「本資料内の写真、イラスト、引用文献等の承諾が必要なものにつきましては、権利者の承諾を得ていることを申し添えます。」

<写真・図表等掲載欄>



図1. 取組3で開発したオリジナルソース



図2. 取組5で実施した池田炭体験の様子



図3. 新商品開発



図4. 開発した商品の箱詰めをしている様



図5. 開発した商品を販売する様子

取組1で開発した新商品の紹介

- ①イチゴバタージャム：本校産イチゴとバターを融合させた
- ②べっぴんプリン：大阪産の卵を使用した卵が主役のプリン
- ③#俺のイモパン：本校産サツマイモをオリジナルあんにした新感覚
- ④メロンパン：ヨーグルトとチーズを加えたしっとりパン
- ⑤スタンドグラスクッキー：形と見た目の独創性で勝負